平成 21 年 11 月 12 日

各　　位

会　社　名　酒井重工業株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長　酒井　一郎
コード番号　６３５８（東証　第１部）
問 合 せ 先　取締役管理部長　渡辺　秀善
TEL　03-3434-3401

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年５月 15 日に公表しました業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせ致します。

記

１．平成 22 年３月期第２四半期連結累計期間　業績予想数値の修正（平成 21 年４月１日～平成 21 年９月 30 日）

（単位：百万円）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）（平成 21 年５月 15 日発表）	6,700	50	△　60	△　30	△　0.71
今回修正予想（B）	5,420	△　333	△　388	△　445	△ 10.50
増減額（B－A）	△ 1,280	△　383	△　328	△　415	△　9.79
増減率（%）	△　19.1	－	－	－	－
（ご参考）前期実績（平成 20 年９月期）	9,914	341	289	△　109	△　2.57

単位：１株当りの当期純利益は円

２．平成 22 年３月期通期　連結業績予想数値の修正（平成 21 年４月１日～平成 22 年３月 31 日）

（単位：百万円）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）（平成 21 年５月 15 日発表）	15,500	500	250	150	3.53
今回修正予想（B）	14,000	250	110	10	0.24
増減額（B－A）	△ 1,500	△　250	△　140	△　140	△　3.29
増減率（%）	△　9.7	△　50.0	△　56.0	△　93.3	△ 93.20
（ご参考）前期実績（平成 21 年３月期）	16,937	△　267	△　733	△ 1,620	△ 38.13

単位：１株当りの当期純利益は円

３．修正の理由１（第２四半期連結累計期間）

リーマンショック以降大幅な減少を続けてきた売上高は、金融安定化とインフラ整備を中心とした全世界的かつ大規模な経済対策決定に伴い、当第１四半期を底として、当第２四半期から国内、アジア市場を中心に回復基調に入りましたものの、第１四半期の落込みをカバーするには至らず、当第２四半期連結累計期間の売上高は前回予想値に比べ 19.1%の減少となる見通しです。利益面につきましては、大幅な固定費削減を進めて参りましたが、売上高の減少と生産調整に伴う工場原価差損の計上が利益圧迫要因となり、減収減益になる見通しです。

４．修正の理由２（通期連結業績予想）

平成 22 年３月期連結通期業績予想につきましては、アジアに加え、その他の新興国においても売上高の回復が見込まれますが、当第２四半期連結累計期間売上高の遅れをカバーするには至らず、前回予想値に比べ通期連結累計売上高を 9.7%下方修正致します。利益面につきましては、更なる固定費削減と利益創造施策により業績回復を目指して参りますが、売上高予想値の修正に伴い、上記２項の通り修正致します。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以　　上